



◇ジオパーク来訪者の受け入れの充実

(1) 情報発信機能・案内機能の充実

1) スマートフォン等の活用

・ジオサイト巡りの情報を一括提供し、さらに飲食・買い物・宿泊等にも波及

2) 糸魚川駅周辺での情報発信

・糸魚川駅周辺での観光案内とジオパーク情報提供の拠点の整備

3) フォッサマグナミュージアムのリニューアル

・糸魚川ジオパークのビズターセンターとして、教育・ガイド機能等の充実

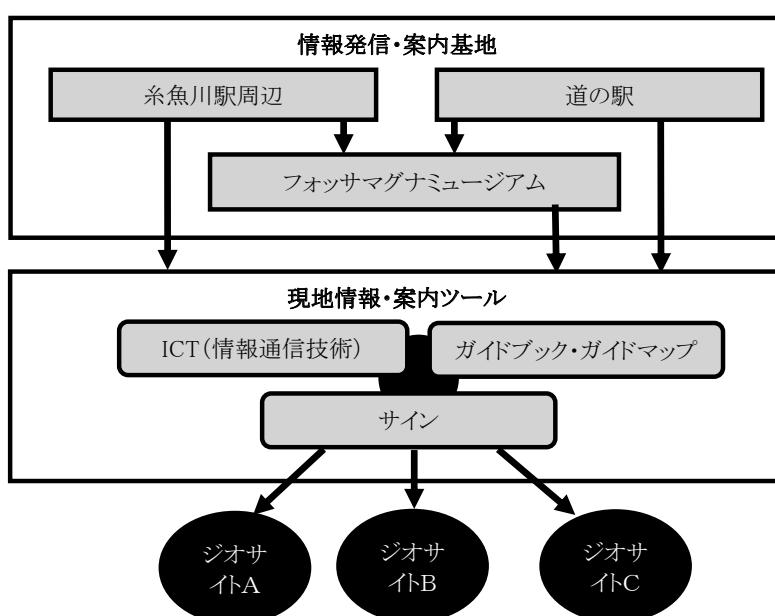
糸魚川ジオパークに初めて訪れた来訪者に対して、効果的な情報の発信と案内の機能充実について検討を行う。

基本的な考え方は、糸魚川ジオパークの玄関口（メインエントランス）となるJR糸魚川駅及びその周辺において必要となる基本情報を入手でき、糸魚川ジオパークのビズターセンターとして位置づけるフォッサマグナミュージアムへ導くものである。フォッサマグナミュージアムでは糸魚川ジオパークの基礎知識の取得と、オリエンテーションを行う。

次に、糸魚川駅周辺もしくはフォッサマグナミュージアムから、各ジオサイト・ジオポイントへはICT（情報通信技術）やサインやガイドブック・ガイドマップを利用して、アプローチできるようにし、各ジオサイト・ジオポイントの観光情報を容易に入手できるようにする。

◎情報発信・案内基地

糸魚川駅周辺と道の駅（マリンドリーム能生、親不知ピアパーク）を、糸魚川ジオパークを含む糸魚川全体の情報発信・案内基地として位置づける。さらに、フォッサマグナミュージアムを糸魚川ジオパークの情報発信・案内基地と位置づけ、ビズターセンターとしての機能をもたせる。



◎現地情報・案内ツール

来訪者が現地を訪れるための情報・案内ツールとして、ICT（情報通信技術）の活用した携帯端末とガイドブック・ガイドマップの整備を行う。さらに誘導・案内施設として、サインを整備する。

糸魚川ジオパーク戦略プラン

1)スマートフォン等の活用

ICT（情報通信技術:Information and Communication Technology）を活用し、スマートフォンやタブレット端末、音声解説を用いて、来訪者が糸魚川ジオパークの観光情報やアクセス情報などをリアルタイムに入手できるようにし、一人でも旅行ができる環境を整備する。

①糸魚川市の通信インフラの現状と課題

糸魚川市のモバイル通信のインフラの現状は下図の通りである。ジオサイトの多くが携帯電話のデータ通信網のサービスエリア外であり、携帯通信インフラを使用するアプリケーションを基本としたICT（情報通信技術）や携帯電話用ホームページの活用には限界がある。そのため、全域にQRコードを表示し、オンライン上で情報を発信することは困難である。

全てのジオサイトにおいてICT（情報通信技術）を活用したナビゲーション・ガイド等を実現するためには、スマートフォンの機能（GPS・地磁気センサー等）の利用を含め、すべてをパッケージングした新規アプリケーション開発が望ましいが、開発費が高額であり、既存アプリケーションを活用して活用できる環境整備を行う。





②具体策の検討

(A) 音声ガイドデータの作成

ジオポイント及びジオサイトに関する音声ガイドのデータを作成し、ホームページ等で無料公開する。

a) 案内資源の整理

糸魚川ジオパークのジオポイントのうち、来訪者に人気があるジオポイントや糸魚川市として発信したいジオポイント等を200か所程度となるように整理する。

整理したジオポイントの情報を既存パンフレットや糸魚川ジオパークガイドからヒアリングし、発信する情報を原稿としてとりまとめる。

b) 音声ガイドデータの録音・編集・発信

原稿を音声ガイドデータとして録音・編集する。録音したデータをiPodやMP3プレイヤーで再生可能なデータ形式に変換する。

作成した音声ガイドデータをiTunesや糸魚川ジオパークホームページでダウンロードが可能となるようにする。

(B) スマートフォン等利用の環境整備

目覚ましく普及するスマートフォン等を活用して、ジオサイト巡りに必要な情報を提供し、さらに飲食や買い物・宿泊などの情報も提供できるようスマートフォン等が利用できる環境整備を行う。まず、利用者の多いエリアから試行し、エリアを拡大や内容の充実を図る。

a) アプリケーションの選択

現在多くのアプリケーションが開発されており、糸魚川市に適したアプリケーションを選択する。

b) 資源・情報等の選択

アプリケーションで提供する資源や情報を選択する。

c) 資源・情報等のデータ作成

アプリケーションに対応した資源・情報のデータを作成する。

d) 情報の更新

イベント・交通情報など隨時情報を更新する。

糸魚川ジオパーク戦略プラン

◆ジオサイトガイド

ジオサイトを選択することにより、ジオサイトの解説、地図表示によるジオポイントの紹介、GPS機能を利用して地図上に現在地と近郊のスポットを表示する。



◆おすすめコース案内

ジオサイト探索のおすすめコースを表示、選択することにより、ルート・移動時間等の情報を表示する。



◆観光案内

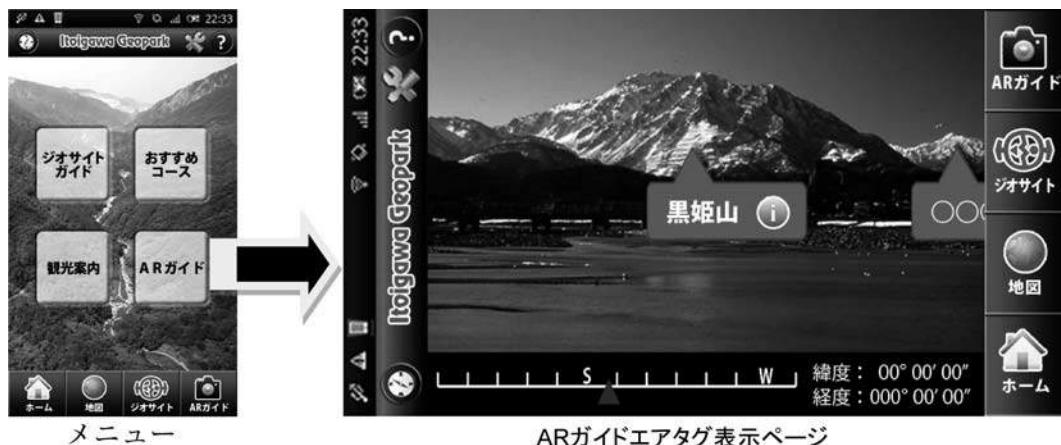
グルメ情報・温泉情報等を表示、選択することにより店舗情報・おすすめメニュー・クーポン等を表示する。さらに、地図情報ともリンクし、近郊の店舗等も表示する。





◆ AR ガイド

GPS・地磁気センサー・加速度センサーを使用し、スマートフォンの内蔵カメラの映像にリアルタイムに名称等を表示し、エアタグをタッチすることにより情報を表示する。



ARガイドエタグ表示ページ



ARガイド情報表示ページ

③実施主体

(A) 音声ガイドデータ

糸魚川市が作成、運用。

(B) スマートフォン・タブレット用アプリケーション

糸魚川市が作成し、糸魚川ジオパーク協議会等での運用。

糸魚川ジオパーク戦略プラン

④費用

必要な費用は下記のとおりである。

具体的な施策	実施内容	概算事業費	備考
1. 音声ガイドデータの作成	①案内資源の整理	200万円	
	②音声ガイドデータの録音・編集・発信	300万円	
	③運用・実施日（年間ランニングコスト）	不要	ただし、サーバ費用は別途必要
2. スマートフォン等利用データ作成	①資源・情報の選択	－	
	②アプリケーションのデータ作成	800万円	2012(平成24)年：500万円 2014(平成26)年：300万円
	③機器	150万円	5万円×30台
	④ランニングコスト	420万円	120万円×3.5年
合計		1,870万円	

⑤効果測定手法

データの検索・ダウンロード数より効果を測定する。

⑥工程

工程は下表のとおりである。

具体的な施策	実施内容	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
1. 音声ガイドデータの作成	①案内資源の整理				---	
	②音声ガイドデータの録音・編集・発信				---	
2. スマートフォン等利用環境整備	①試験的運用		---	---		
	②情報の充実				---	



2) 糸魚川駅周辺での情報発信

糸魚川市の鉄道の拠点駅であり新幹線駅となる糸魚川駅は糸魚川ジオパークの玄関口であり、初めて訪れる来訪者にとって最初に情報を入手する場所である。

2014（平成26）年度に予定されている北陸新幹線開業に向け、JR糸魚川駅での新幹線駅の計画が進んでいることから、新幹線駅の建設にあわせて、糸魚川駅周辺での情報発信の充実を図る。

①具体策の検討

(A) 案内機能の強化

糸魚川ジオパークを訪れた来訪者に、ジオツアーコースの紹介、乗り物・飲食・宿泊・ガイドの紹介等ができるようにし、糸魚川駅周辺でのワンストップサービス化を図る。糸魚川ジオパークを目的とした来訪者はもちろん糸魚川ジオパーク以外の観光目的の観光客やビジネス客にも有効な情報提供ができるよう案内所を充実強化する。

さらに、新たに整備される新幹線駅高架下にはジオパークのインフォメーションコーナーを設置する。ジオパークの紹介映像やジオサイトの情報提供、アクセス、ツアー、ガイドの紹介、団体ツアーの事前講習などで多面的な活用を図る。

(B) 総合案内サインの設置

新しく建設される新幹線糸魚川駅にジオパーク全体及びジオサイトの位置がわかる総合案内サイン・全体地図を、北口、南口にそれぞれ設置する。サインにはフォッサマグナミュージアムの位置を示し、駅からのアクセス手段を明示する。

②実施主体

(A) 案内所の強化

糸魚川市、糸魚川ジオパーク協議会、糸魚川市観光協会

(B) 総合案内サインの設置

糸魚川市

③費用

必要な費用は下記のとおりである。

具体的な施策	実施内容	概算事業費	備考
1. 案内所の強化	①案内所の強化	別途	
	②ジオパークインフォメーションコーナーの整備	別途	
2. 総合案内サインの設置	①サイン工事	1,000万円	北口と南口にそれぞれ1基設置
合計		1,000万円	

糸魚川ジオパーク戦略プラン

④想定効果

糸魚川ジオパークを来訪する来訪者にとって、ワンストップサービスで必要情報を効率的に得ることができ、利便性が増す。

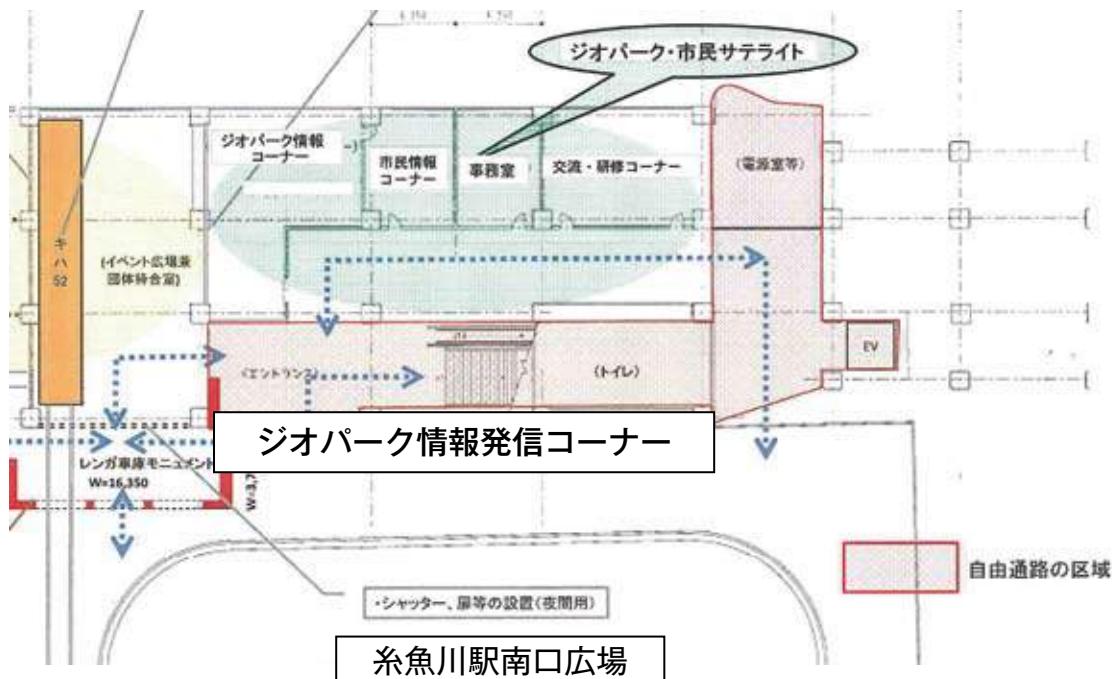
⑤効果測定手法

本施策の効果測定は、糸魚川ジオパークへの来訪者へのアンケート実施により行う。

⑥工程

工程は下表のとおりである。

具体的な施策	実施内容	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
1. 案内所の強化	①ワンストップサービスの実施					
	②ジオパークインフォメーションの整備					
2. 総合案内サインの設置	①サイン工事				■	





3) フォッサマグナミュージアムのリニューアル

現状のフォッサマグナミュージアムは、糸魚川ジオパークの紹介コーナーはあるが、糸魚川ジオパークに関する展示・説明は十分と言えない。フォッサマグナミュージアムを、糸魚川ジオパークのビジャーセンターとして位置づけ、リニューアルや案内の改善を行う。

① 基本的流れ

ビジャーセンターとしてのフォッサマグナミュージアム利用の基本的流れを以下に示す。

- (A) 糸魚川ジオパークのメインゲートである糸魚川駅に降り立った来訪者や乗用車などでの来訪者が、まずフォッサマグナミュージアムに来館する。
- (B) 次に、来訪者はジオパークに関して学習し、オリエンテーションを受ける。
- (C) その後、来訪者はジオ・コンシェルジュにジオツアーについて相談し、各自の趣向にあつたジオサイトやジオツアーの提案を受け、好みにあつたジオツアーを決める。
- (D) フォッサマグナミュージアムを出館し、ジオサイトへ出発もしくはジオツアーに参加する。

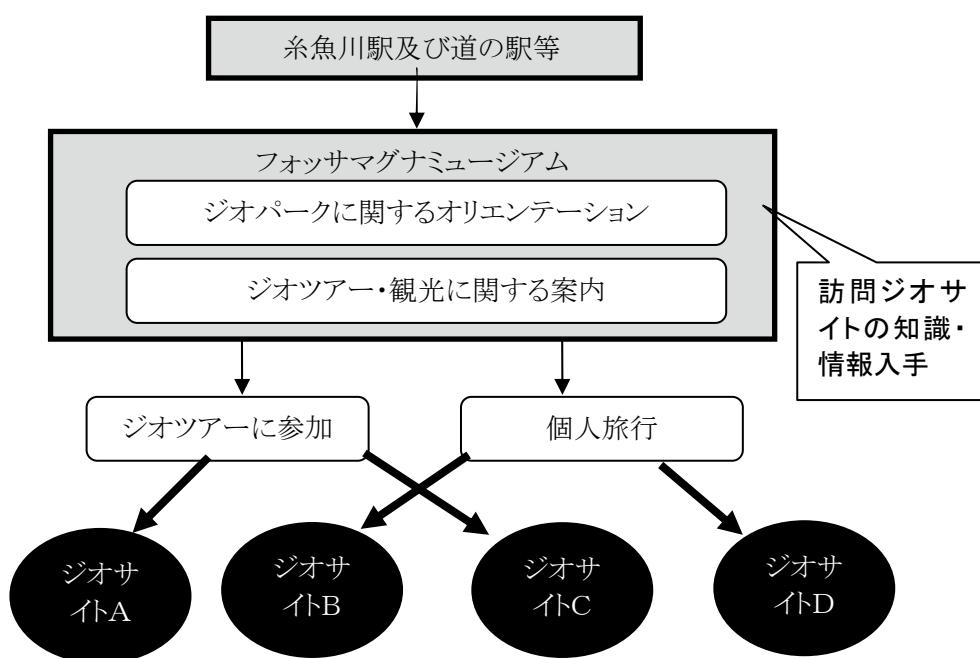


図 ビジャーセンターとして活用の流れ

糸魚川ジオパーク戦略プラン

②具体策の検討

(A) フォッサマグナミュージアムのリニューアル

フォッサマグナミュージアムをリニューアルし、ビジターセンターとし以下の機能を導入する。

a) オリエンテーションプログラムの導入

ジオパークについて知識のない来訪者を中心として、30分から1時間程度のオリエンテーションを受けることにより、糸魚川ジオパークを巡るために必要な以下の事項を学習できるようにする。

ア. ジオパークの基礎事項

ジオパークの一般知識のない来訪者に、ジオパークの醍醐味を楽しんでもらうために、ジオパークの基礎的知識を学習しておくことが効果的である。

イ. ジオパークの各サイトの観光ルールや保護に関する事項

世界ジオパークは、地質資源の保護が重要視されていることから、糸魚川ジオパークが今後発展していくためには、来訪者ひとりひとりに対してこの思想への理解を求め、節度ある観光・学習を楽しんでもらう必要がある。

ウ. ジオサイトを訪れる際の安全性に関する事項

ジオサイトには熊の出没地域や危険な山岳路など、安全上留意すべき所が多い。安全にジオサイトを訪れるための知識を得る必要がある。

b) 視覚により学べるジオラマや映像作品等展示物の充実

フォッサマグナミュージアムの展示は映像や模型を導入し、視覚により学べるものとする。大模型（ジオラマ）やCG映像を駆使した映像が効果的である。

ジオサイトの中には、地すべりや雪崩などの災害と共に存しながら生活しているエリアがあるため、シミュレーション映像などを活用してこれまでの災害時の地面の挙動を再現するなど、ジオパークと人々の生活の密接な関連をアピールするコンテンツも充実させていく。





(B) ジオ・コンシェルジュの設置

糸魚川ジオパークについて、来訪者の要望や疑問に対して丁寧かつ的確なアドバイスを行うジオ・コンシェルジュを養成・設置する。

- a) ジオ・コンシェルジュはジオサイトの情報のほか、来訪者的好みや条件（日程・予算）に応じて、的確な情報を提供する。
- b) ジオ・コンシェルジュは、ジオパーク検定に合格し、一定水準以上の知識を持つことに加え、ジオパークの案内人としてのおもてなし技術を習得しているものとする。
- c) フォッサマグナミュージアムをジオ・コンシェルジュが活動するホームグラウンドとし、交流人口の拡大にともない、フォッサマグナミュージアムの他、段階的にヒスイ王国館・案内所などの情報拠点への派遣・設置を行っていく。

③実施策の検討

(A) フォッサマグナミュージアムのリニューアル

2012（平成24）年度に実施設計を行い、2013（平成25）年度以降に工事を実施する。

(B) ジオ・コンシェルジュの設置

フォッサマグナミュージアムのリニューアルまでにジオ・コンシェルジュの養成を行い、フォッサマグナミュージアムのリニューアルオープン時に設置する。

その後の定期的な研修等においてジオ・コンシェルジュのスキルアップを行う。

④実施主体

糸魚川市

⑤費用

必要な費用は下記のとおりである。

具体的な施策	実施内容	概算事業費	備考
1. フォッサマグナミュージアムのリニューアル	①実施設計	1,000万円	
	②リニューアル工事	9億7,100万円	
2. ジオ・コンシェルジュの設置	①ジオ・コンシェルジュの養成	-	ガイド養成
	②ジオ・コンシェルジュの入件費	別途	
	③ジオ・コンシェルジュの研修等	別途	
合計		9億8,100万円	

⑥想定効果

糸魚川ジオパークを来訪する来訪者の糸魚川ジオパークへの理解が進み、さらに来訪者の安全性が図られ、ジオパークの地質資源や自然環境を保全することに寄与する。

糸魚川ジオパーク戦略プラン

⑦工程

工程は下表のとおりである。

具体的な施策	実施内容	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
1. フォッサマグナミュージアムのリニューアル	①実施設計					
	②リニューアル工事					
2. ジオ・コンシェルジュの設置	①ジオ・コンシェルジュの養成					
	②ジオ・コンシェルジュの設置・研修					



(2) ジオサイトへのアクセスの充実

1) 糸魚川駅からのバス・タクシーの充実

- ◎糸魚川駅からフォッサマグナミュージアムへのアクセスバスの運行
- ◎糸魚川駅からジオサイトへのアクセスの充実(タクシーの活用)

ジオサイトへのアクセスとして、鉄道・バス・タクシーは重要であり、連携しながらジオサイトをめぐるコース設定や利用促進を図る。また、車体へのラッピングなどによるPRや乗客へのジオパークの情報発信についても、連携して実施していく必要がある。

特に、糸魚川駅から糸魚川ジオパークのビジャーセンターであるフォッサマグナミュージアムへのアクセスやタクシーを活用したジオサイトへのアクセスの充実を図る必要がある。

1) 糸魚川駅からのバス・タクシーの充実

- ◎糸魚川駅からフォッサマグナミュージアムへのアクセスバスの運行

新幹線開業に対応し鉄道での来訪者の対応として、糸魚川駅からジオサイトへのアクセスは重要である。特に、糸魚川ジオパークの「ビジャーセンター」としての位置づけから、糸魚川駅とフォッサマグナミュージアムを結ぶアクセスバスを運行することが必要である。

①実施策の検討

(A) フォッサマグナミュージアムへのアクセスバスの対象路線

糸魚川駅とフォッサマグナミュージアムを巡回型で結ぶ路線を新設する。

試行運転を踏まえながら、アンケート等により運行ダイヤ、コースの改良を行う。

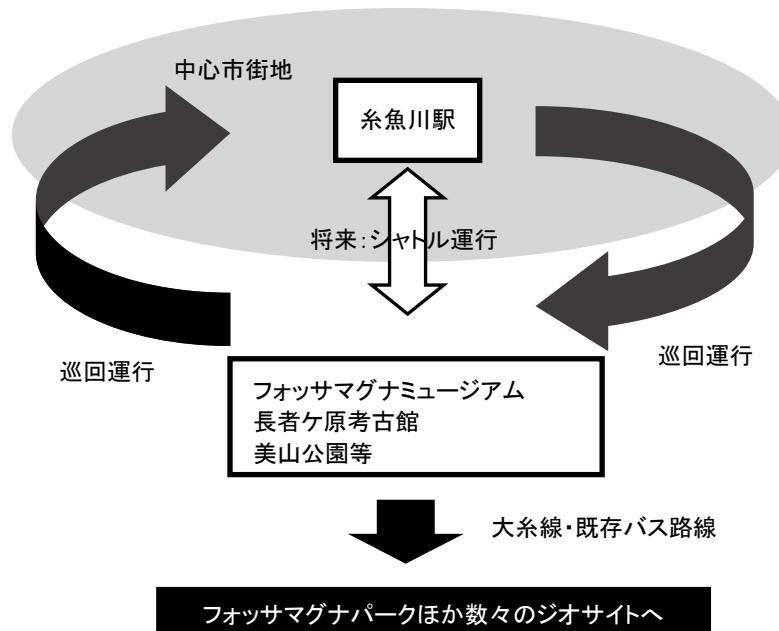


図 フォッサマグナミュージアムへのアクセスバスのイメージ

糸魚川ジオパーク戦略プラン

②実施主体

糸魚川バス、糸魚川市、糸魚川ジオパーク協議会

③費用

必要な費用は下記のとおりである。

具体的な施策	実施内容	概算事業費	備考
1. 駅からのバスの運行	①関係者会議の開催	-	
	②試験運行	200万円	
	③本格運用	1,200万円	300万円×4年
合計		1,400万円	

④想定効果

(A) 糸魚川駅利用者及び自動車を運転できない人にとって、フォッサマグナミュージアムにアクセスすることが可能となり、利便性が高まる。

⑤工程

工程は下表のとおりである。

具体的な施策	実施内容	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
1. 駅からのバスの運行	①関係者会議	■				
	②試験運行	■				
	③本格運用		■	■	■	■



◎糸魚川駅からジオサイトへのアクセスの充実(タクシーの活用)

タクシーについては、現在すでにジオサイトへのアクセスやジオポイントの周遊に活用されているが、今後はより利用しやすいよう、関係実施主体の協力のもとに次のような施策を展開していく。

①具体策の検討

(A) 「駅から観タクン」のコースメニューの充実

「駅から観タクン」のツアーコースは平成23年4月1日現在で、糸魚川駅を起点とする2時間コース（1. フォッサマグナ満喫コース、2. 小滝川ヒスイ峡・高浪の池コース、3. 弁天岩・マリンドリーム能生コース、4. 親不知コース）と選べる糸魚川ジオパーク満喫3時間コースがあるが、コースを増やし充実させる。

(B) タクシー運転手ガイドの養成

タクシー運転手が、ジオツアーのガイドができるよう養成を行うことについて、タクシー会社と調整する。また、ジオパークガイドとして知識やもてなしの心得を記した、タクシー運転手用のガイドマニュアルを作成し、配付する。

参考：「ちゅら島沖縄観光タクシー」

(正式名称：沖縄観光タクシー乗務員資格認定制度)」

沖縄を訪れる観光客に対し、おもてなしの心による接客と、深い観光知識を有する観光ガイドの専門家として認定を受けた『タクシー乗務員』のこと。

そのレベルに応じて「ブルーリボン」「ゴールドリボン」「プラチナリボン」の3段階に区分される。



このステッカーが目印です

②実施主体

(A) 「駅から観タクン」のコースメニューの充実

JR、タクシー会社、糸魚川市等

(B) タクシー運転手ガイドの養成

糸魚川ジオパーク協議会がタクシー会社と調整して実施。

③費用

必要な費用は下記のとおりである。

具体的な施策	実施内容	概算事業費	備考
1. 「駅から観タクン」のコースメニューの充実	①コースの検討	別途	
	②関係者間協議	別途	
2. タクシー運転手ガイドの養成	①ガイドマニュアル作成	30万円	
	②印刷・配付	30万円	
合計		60万円	

糸魚川ジオパーク戦略プラン

④想定効果

糸魚川ジオパークを訪れた来訪者の満足度が向上する。

⑤工程

工程は下表のとおりである。

具体的な施策	実施内容	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
1. 「駅から観タクン」のコースメニューの充実	①コースの検討					
	②関係者間協議					
	③実施					
2. タクシー運転手ガイドの養成	①ガイドマニュアルの作成					
	②印刷配付					



(3) ジオサイトをめぐるツアーの充実

1)核となるツアーの充実

- ・糸魚川の代表的なツアーの整備

2)多様なツアーの開発

- ・専門的など多様なニーズに対応したツアーの開発

サイト間の交通アクセスの整備など多角的な取り組みを行い、多様な来訪者のニーズに対応したツアーの実施を図る。

1)核となるツアーの充実

ジオパークツアーの着地型観光は、駅から観タクン、定期観光バス等の商品がある。北陸新幹線開業に向けた首都圏をターゲットとした場合、価格などから1泊2日が基本となる。

以下のツアーの実施・PRにあたり、旅行会社と連携したモニターツアーを実施しながら、新幹線開業時のツアーと受け入れの魅力を高め、誘客を図る。

①具体策の検討

(A) ジオパークツアー

a)糸魚川ヒスイ・パワーストーン体験ツアー（4月～11月）

ツアーナ	糸魚川ヒスイ・パワーストーン体験ツアー		
テーマ	糸魚川ジオパークでしか体験できないヒスイの神秘とパワーを体感し、ヒスイの魅力を堪能する		
コアターゲット	一般観光客、家族グループ、女性グループ、首都圏在住者		
時季（期間）	早春～晩秋（4月～11月）、海岸沿いのジオポイントにおいては冬（12～3月）も可		
ツアー コアニーズ		体験・学習ニーズ	遊び・癒しニーズ
		大地・岩石学習	景観・名勝地、グルメ、温泉
ツア ー 素 材	主要 素 材	・ヒスイ（大地・岩石学習）	・親不知海岸の断崖（景観・名勝地） ・あんこう（冬）
	補助 素 材	・海岸の石探し（大地・岩石学習） ・フォッサマグナミュージアム（大地・岩石学習） ・奴奈川姫伝説（歴史・文化学習）	・小滝川ヒスイ峡（景観・名勝地） ・海産物（グルメ） ・ブラック焼きそば（グルメ） ・蓮華温泉、雨飾温泉、姫川温泉、焼山温泉、笠倉温泉、柵口温泉等
ツア ー 趣 旨	ヒスイの関連ポイントを巡るツアーとする。ヒスイ関連ポイントとしては①ヒスイ探しができる市振海岸、親不知海岸、青海海岸、糸魚川海岸、糸魚川駅周辺、②ヒスイの産地で原石を見ることができる青海川硬玉産地、小滝川硬玉産地、③ヒスイが展示されている翡翠ふるさと館、青海自然史博物館、④ヒスイの加工見学ができるヒスイ王国館、⑤ヒスイの自然科学や歴史を学ぶフォッサマグナミュージアム、長者ヶ原考古館がある。これらのジオポイントを組み合わせて、ヒスイ見学、ヒスイ体験（ヒスイ探し、ヒスイみがき）のツアーの骨格をつくる。 さらにヒスイと奴奈川姫伝説を盛込みストーリー化することにより、深みと面白みのあるオリジナルツアーを企画することが可能である。		

糸魚川ジオパーク戦略プラン

方策	
差別化体験	・糸魚川ジオパークだからこそ体験できるオンリーワンのヒスイを見ることができ、さらに、ヒスイに係わる伝説・歴史・産業・科学についての体験・学習ツアーを実施する。
大地・自然体験	・ヒスイの産出地や展示場所でのヒスイの原石・巨石の見学や手に触れる体験を通して、ヒスイパワーを実感してもらう。 ・ヒスイ等石探しによる心の癒しツアーやイベントを実施する。
地元交流	・ヒスイ体験（ヒスイ拾い、ヒスイみがき）を地元の住民や子ども達と一緒に行うイベントを実施し、地元との交流を図る。
リピーターづくり	・ヒスイファンクラブを作り、登録者にはメールマガジンを発行し、再来訪を促す。
ツアーベース・方法	
【ヒスイ巡りマップ、ヒスイガイドブック】 ヒスイ巡りマップやヒスイガイドブックを作成し交通拠点（鉄道駅、道の駅等）にて配付する。一人で自由にヒスイ巡りの旅ができるようにする。マップとガイドブックにはヒスイとヒスイ関連ポイントを載せ、ヒスイの伝説・歴史・産業・科学について解説を載せる。さらに、神秘的パワーや癒し効果についても記載する。	
【奴奈川姫伝説を盛込んだストーリー】 ヒスイと奴奈川姫伝説を盛込んだストーリーを作る。伝説のポイントを巡るというものではなく、ヒスイと奴奈川姫伝説を題材に新しいストーリーを作り、ヒスイ関連ポイントを楽しみながら巡れるように仕組む。そして、ストーリーに沿ったツアーを実施する。	
【ヒスイ体験イベント】 ヒスイみがきとヒスイ探しを基本とする。ヒスイみがきで「心の汚れがとれる」、「心が美しくなる」、ヒスイ探しで「心が癒される」、ヒスイを拾うと「幸せになれる」等の価値づけを行う。イベントは地元住民や子どもと交流できるよう企画し、糸魚川に愛着が生まれるよう工夫する。	
【手作りヒスイ商品】 来訪者のオーダーメイドによるヒスイ商品（アクセサリー等）を販売する。ツアー中にヒスイ販売店でデザインの打ち合わせをし、ツアー終了後に自宅に送り届ける。	

ツアーベース・方法

日・時間	工程
1日目	
12:00-12:45	糸魚川着 昼食（ブラック焼きそば or 南蛮エビ等）
13:00-13:30	海岸での石探し
14:00-15:15	小瀧川ヒスイ峡・高浪の池
15:45-17:00	フォッサマグナミュージアム（石の鑑定）
17:30頃	宿到着
2日目-①	
9:00-10:30	弁天岩、白山神社
10:40-12:15	マリンドリーム能生（買い物、昼食）（南蛮エビ or カニ等） 東京へ
2日目-②	
9:00-10:30	親不知（天険・ピアパーク）
11:15-12:00	バタバタ茶 or 相馬御風生家
12:00-12:45	昼食（ブラック焼きそば or 南蛮エビ等）
12:50-13:15	ヒスイ王国館物産センター
13:30-14:15	天津神社 東京へ



b) 糸魚川あんこう&雪見温泉ツアー（1月～3月）

ツアー名	糸魚川あんこう&雪見温泉ツアー			
テーマ	冬の目玉として糸魚川のあんこう料理を堪能し、雪見温泉でゆっくりくつろぐツアー			
コアターゲット	一般観光客、家族グループ、女性グループ、首都圏在住者			
時季（期間）	冬（1月～3月）			
ツアー コアニーズ	体験・学習ニーズ	遊び・癒しニーズ		
	—	景観・名勝地、グルメ、温泉		
ツアー素材	主要素材	・あんこう		
	補助素材	・海産物（グルメ） ・ブラック焼きそば（グルメ） ・糸魚川温泉、姫川温泉、焼山温泉、 笹倉温泉、柵口温泉等		
ツアー趣旨	遊び・癒しニーズに基づいたツアーである。首都圏からの観光客を満足させ、他地域と差別化できる冬の目玉として、あんこう料理をメインとするツアーである。あんこう料理を補う素材として、風情があり癒し効果のある雪見温泉をセットとして売り出す。			
方策				
差別化体験	・ベニズワイガニや南蛮エビ等の北陸地方の産地との競合を避け、あんこうで勝負する。「あんこう」と言えば「糸魚川」と周知できるようブランド化を図る。 ・首都圏周辺には熱海・伊豆・草津等有名な温泉があるが、雪はあまり降らないので、雪見温泉の風情を楽しめない。雪見温泉ができる競合は東北地方、北陸信越地方の温泉となるが、糸魚川の特徴を持たせた雪見温泉を作る。			
大地・自然体験	—			
地元交流	—			
リピーターづくり	・糸魚川あんこうファンクラブをつくり、登録者にはメールマガジンを発行し、再来訪を促す。			
ツアーの基本仕様・方法				
【あんこう料理】 糸魚川の郷土料理として他地域と差別化できるあんこう料理を提供する。特にあんこう鍋については、糸魚川あんこう鍋の基本レシピにそれぞれの店独自の特徴を持たせたバリエーションのあるあんこう鍋を出し、来訪者をあきさせないようにする。				
【大洗町との連携】 首都圏周辺地であんこうが有名な土地は茨城県大洗町である。大洗町と糸魚川市で「あんこう食べ比べ」や「あんこう対決」等のキャンペーンやイベントを共同で行う。 たとえば、大洗町であんこうを食べた客に糸魚川市の宿泊券をプレゼントし、糸魚川市に来てもらいたいあんこうを食べもらう。どちらのあんこうが美味しかったかジャッジしてもらい、両市町で切磋琢磨し話題性を持たせる。「北の糸魚川か南の大洗か」と言われるまでイベントを続ける。 また、首都圏にて糸魚川市と大洗町での共同イベント「あんこう祭り」を開催し、マスコミに取り上げてもらうなどのパブリシティ効果の高いイベントを実施し、観光客の誘致に努める。				
【温泉施設】 糸魚川の特徴ある雪見温泉としては、雪化粧した壮大な北アルプスもしくは雪降る日本海の眺望を売りに他の温泉地と差別化できる。 さらに、ヒスイ等の糸魚川の石を使った岩盤浴や、ヒスイ風呂等糸魚川の特徴を持たせる。				

糸魚川ジオパーク戦略プラン

ツアーハイライト

ツアーハイライト

日・時間	工程
1日目	
12:00-12:45	糸魚川着 昼食（ブラック焼きそば or 南蛮エビ等）
12:50-13:30	バタバタ茶 or 相馬御風生家
13:45-14:15	荒波体験 or 海岸での石探し
15:00-16:15	フォッサマグナミュージアム（石の鑑定）
17:00頃	宿到着
17:00-18:00	雪見温泉 夕食（あんこう、幻魚など）
2日目	
8:00-9:00	雪見温泉 or かんじき体験
9:45-11:15	親不知（天険・ピアパーク）
12:00-12:45	昼食（ブラック焼きそば or 南蛮エビ等）
13:10-14:00	弁天岩・白山神社
14:10-14:40	マリンドリーム能生 東京へ

c) 糸魚川世界ジオパーク 撮るたび

糸魚川商工会議所が中心となり、地域力活用新事業∞（無限大）全国プロジェクトで、着地型観光開発として5つのテーマカラーによる写真撮影のツアー（撮るたび）を平成23年度実施中であるから、継続的な実施を検討する。

(B) モニターツアー

首都圏の旅行会社・旅行新聞等を対象に、モニターツアーを実施して、糸魚川ジオパークの魅力をアピールするとともに、アドバイスを受けながらツアー商品の魅力を向上させ採択される商品をめざす。また、後半はジオパークツアーや首都圏の一般客を対象としてモニターツアーも実施し、ツアーリーの改善を行う。

a) 企画調査・検討、関係者調整

初年度に施策に関する調査・検討を行い、実行可能性の高い具体案を作成し、糸魚川市、糸魚川ジオパーク協議会、糸魚川着地観光の会などと調整する。

b) モニターツアーの実施

モニターツアーを実施し、効果を確認の上、ツアーリー商品や受け入れを充実して魅力向上を図り、本格実施に移行する。

② 実施主体

糸魚川ジオパーク協議会、糸魚川着地観光の会等



③費用

必要な費用は下記のとおりである。

具体的な施策	実施内容	概算事業費	備考
1. ジオパークツアー	①商品化、PR	1,000 万円	平成 26 年度、平成 27 年度各 500 万
2. モニターツアー	①企画調査・検討・調整	—	
	②モニターツアーの実施	600 万円	平成 24 年度、平成 25 年度各 300 万
合計		1,600 万円	

④想定効果

糸魚川ジオパークを訪れた来訪者の満足度が向上する。

⑤工程

工程は下表のとおりである。

具体的な施策	実施内容	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
1. ジオパークツアー	①商品化、PR				■	
2. モニターツアー	①企画調査・検討・調整		■			
	②モニターツアーの実施			■		

糸魚川ジオパーク戦略プラン

2) 多様なツアーの開発

空から見るジオパーク、海から見るジオパークなど多面的なジオパークの楽しみ方が市内で実施されている。また、ジオサイトによっては、一般的な観光客より、専門家や愛好家が対象となるようなジオサイトもある。各種分野など多様なニーズに対応できるツアーを開発することにより、継続したリピーターやその分野の来訪者の拡大につながることが期待される。市内にはそれぞれの分野の第一人者がおり、各種ツアーが増えてくると思われるが、これまで入山が困難だったマイコミ平ジオサイトの例を示す。

◎マイコミ平ジオサイトツアー

①具体策の検討

(A) ツアーの企画・調整

安全上から入山が規制されていたが、関係企業・地権者が認めるガイドと一緒にあれば 2010（平成 22）年から入山できるようになった。



ガイドと調整しながら一般者が見るコースを設定した。

試行的に日帰りで実施し、一泊のツアーへ発展させ、ジオパークや糸魚川の魅力を知っていただく。

歩道が狭いことから1回のツアーは 20 人を定員とする。

(B) ツアー行程案 マイクロバス利用

[日帰り] 糸魚川駅 10:40 発→マイコミ平駐車場 11:30 着→

大マイコミ、小マイコミ、通天洞、千里洞、白蓮洞→

マイコミ平駐車場 16:00 発～糸魚川駅 17:00 着

[1泊] 1日：糸魚川駅 13:00 発～

13:15～15:00 フォッサマグナミュージアム（ジオパーク講座・館内）

15:30～17:30 ジオサイト→宿

18:30～20:30 学習会（洞窟内映写会）・交流会（ガイド等）

2日：8:00 発→9:00～13:30 マイコミ平→糸魚川駅 14:30 着

②実施主体

糸魚川ジオパーク協議会がサポートし、糸魚川着地観光の会等が主体。

③費用

参加費で実施

例 1回あたり 日帰り 6,500 円×20 人 =13 万円



④効果

高山植物やドリー、そして秘境の雰囲気など非日常性が高まり、専門家・愛好家などリピーターの獲得も期待される。

⑤工程

工程は下表のとおりである。

具体的な施策	実施内容	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
1. マイコミ平ツア-	①試行					
	②改良して実施					

糸魚川ジオパーク戦略プラン

(4) ジオパーク資源の活用

1) フォッサマグナパークの改善

- ・糸静線の断層露頭と巨大枕状溶岩の改善

糸魚川ジオパークには、ヒスイや糸魚川－静岡構造線など独特な地質資源があり、その効果的な活用により、魅力を向上する必要がある。特に課題のあるフォッサマグナパークの改善が急がれる。

1) フォッサマグナパークの改善

糸魚川ジオパークの重要ジオポイントの一つであるフォッサマグナパーク（断層、巨大枕状溶岩）を、来訪者が感動・満足できるよう改善する。

①具体策の検討

(A) 糸魚川－静岡構造線断層露頭の改善 … 詳細は65ページ

フォッサマグナパークの断層の露頭がわかりづらい現状を改善し、露頭が明確にみるこ
とができるよう整備を行う。

(B) 巨大枕状溶岩の改善

既存シェルターを撤去し、枕状溶岩を観賞できる場を整備する。ただし、崩落の危険性に配慮し、巨大枕状溶岩の観賞の障害にならない新しい崩落防止用シェルターを設置する。

②実施主体

糸魚川市

③費用

必要な費用は下記のとおりである。

具体的な施策	実施内容	概算事業費	備考
1. 糸魚川－静岡構造線 断層露頭の改善	①測量・地質調査費	－	
	②設計費（土木）	100万円	
	③工事費（土木）	900万円	歩道含む
2. 巨大枕状溶岩の改善	①測量・地質調査費	－	
	②設計費	200万円	
	③工事費	4,500万円	
合計		5,700万円	



④想定効果

フォッサマグナパークの改善により、来訪者の満足度が高まる。

⑤工程

工程は下表のとおりである。

具体的な施策	実施内容	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
1. 糸魚川一静岡構造線断層露頭の改善	①設計		■			
	②工事		■			
2. 巨大枕状溶岩の改善	①設計		■			
	②工事			■		

糸魚川ジオパーク戦略プラン

※糸魚川-静岡構造線断層露頭の改善の具体策

糸魚川-静岡構造線断層露頭の改善として、断層露頭案の比較検討を行い、改善案を提示する。

①断層露頭案の比較検討

断面露頭案として、下記の2案について比較検討を行う。

1案 … 擁壁を除去し、破碎帯部分の法面を露頭させる。

2案 … 擁壁を除去せず、掘り込んで岩盤層を露頭させる。

表 断層露頭案の比較

	1案	2案
施工概要	<ul style="list-style-type: none">・抑止杭を設置し背面からの土砂すべりを抑制する。・擁壁の背面を地山まで掘削しながら擁壁を取り壊す。	<ul style="list-style-type: none">・岩盤線から既設橋梁底版位置まで掘削する。
問題点	<ul style="list-style-type: none">・抑止杭の施工となるので施工規模が大きくなる。・土質状態により抑止杭の規模が変動する。 (杭径、配列数、別途アンカー挿入等)	<ul style="list-style-type: none">・既設橋梁の安定を照査しなければならない。・土質状態により別途アンカー挿入等が発生する。
構造上の安全性	<ul style="list-style-type: none">・問題無し。	<ul style="list-style-type: none">・既設擁壁基礎が確実に岩盤層に入っているれば問題無し。
景観上の問題	<ul style="list-style-type: none">・破碎帶の観賞となる。岩盤層は観賞出来ない。・アンカー挿入をするとその位置が見える。	<ul style="list-style-type: none">・岩盤層の観賞となる。破碎帶は観賞出来ない。・観賞する高さが小さい。・アンカー挿入をするとその位置が見える・河川区域に入る可能性がある。・見上げると既設擁壁まで見えるので圧迫感を感じる。
直接工事費 (総工事費)	10,400万円 (15,600万円)	100万円 (150万円)

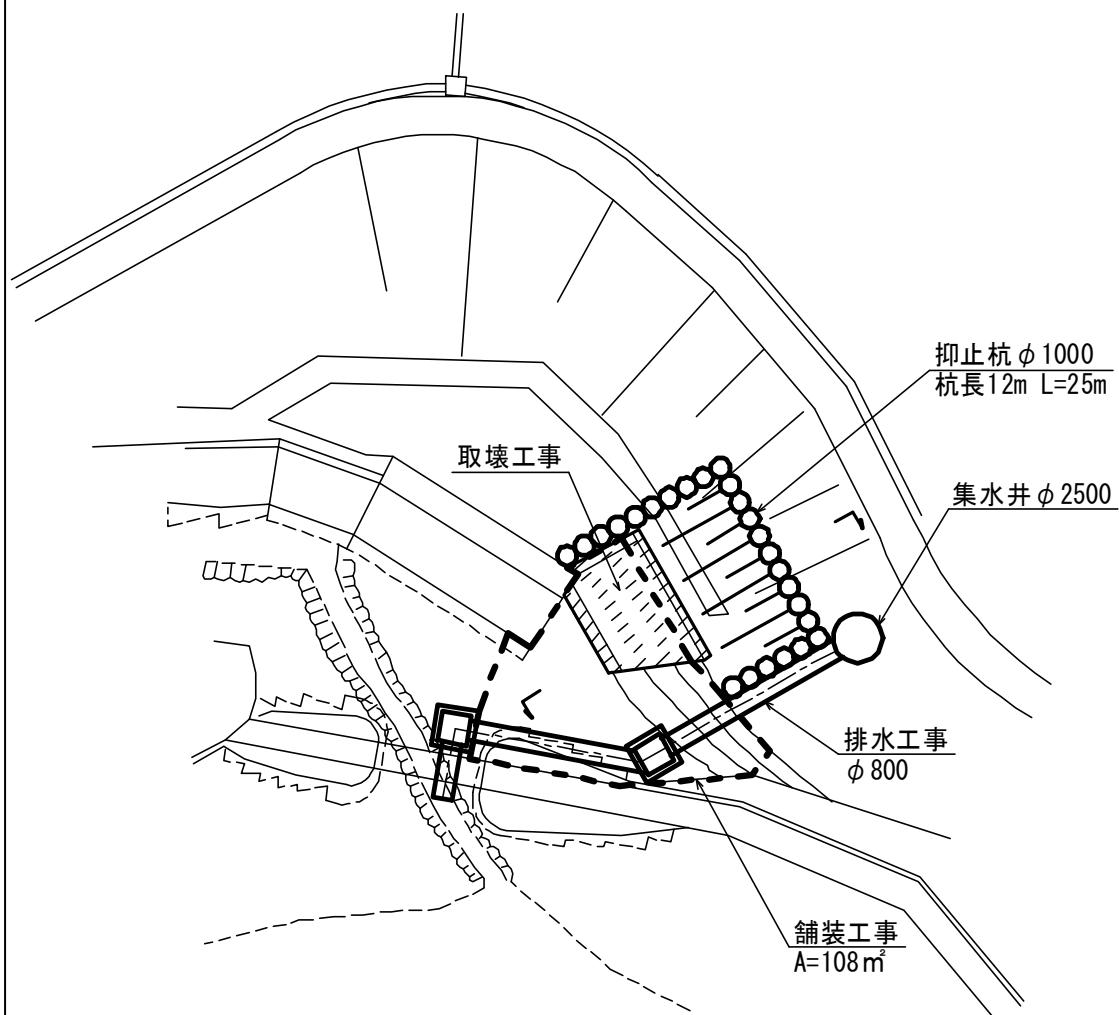
現在の擁壁を除去すると約1.5億円の工事費となることから、擁壁を除去せず、掘り込んで岩盤層を露頭させる工法が、現実的と思われる。

新露頭までのアクセス歩道が別途必要となる。



1案平面図：破碎帯観賞

S=1/300



糸魚川ジオパーク戦略プラン

1案断面図：破碎帯観賞

S=1:300

①施工概要

- ・抑止杭を設置し背面からの土砂すべりを抑制する。
- ・擁壁の背面を地山まで掘削しながら擁壁を取り壊す。

②施工上の問題点

- ・抑止杭の施工となるので施工規模が大きくなる。
- ・土質状態により抑止杭の規模が変動する。
(杭径、配列数、別途アンカー挿入等)

③構造の安全性

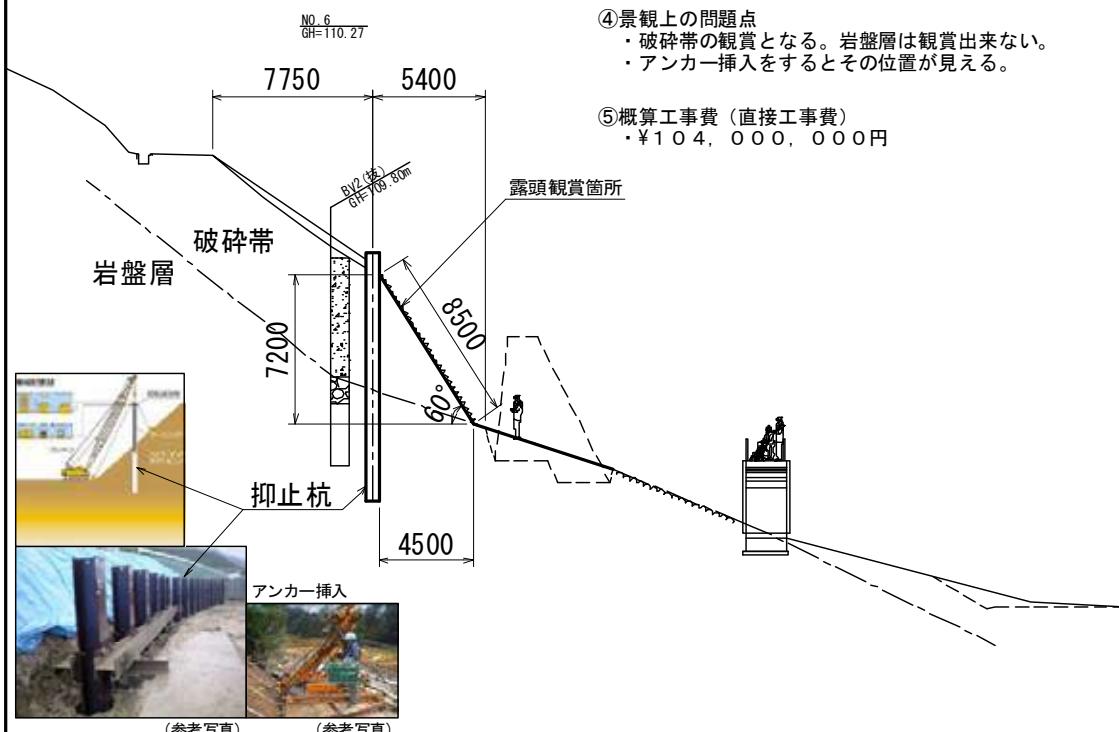
- ・問題無し。

④景観上の問題点

- ・破碎帯の観賞となる。岩盤層は観賞出来ない。
- ・アンカー挿入をするとその位置が見える。

⑤概算工事費（直接工事費）

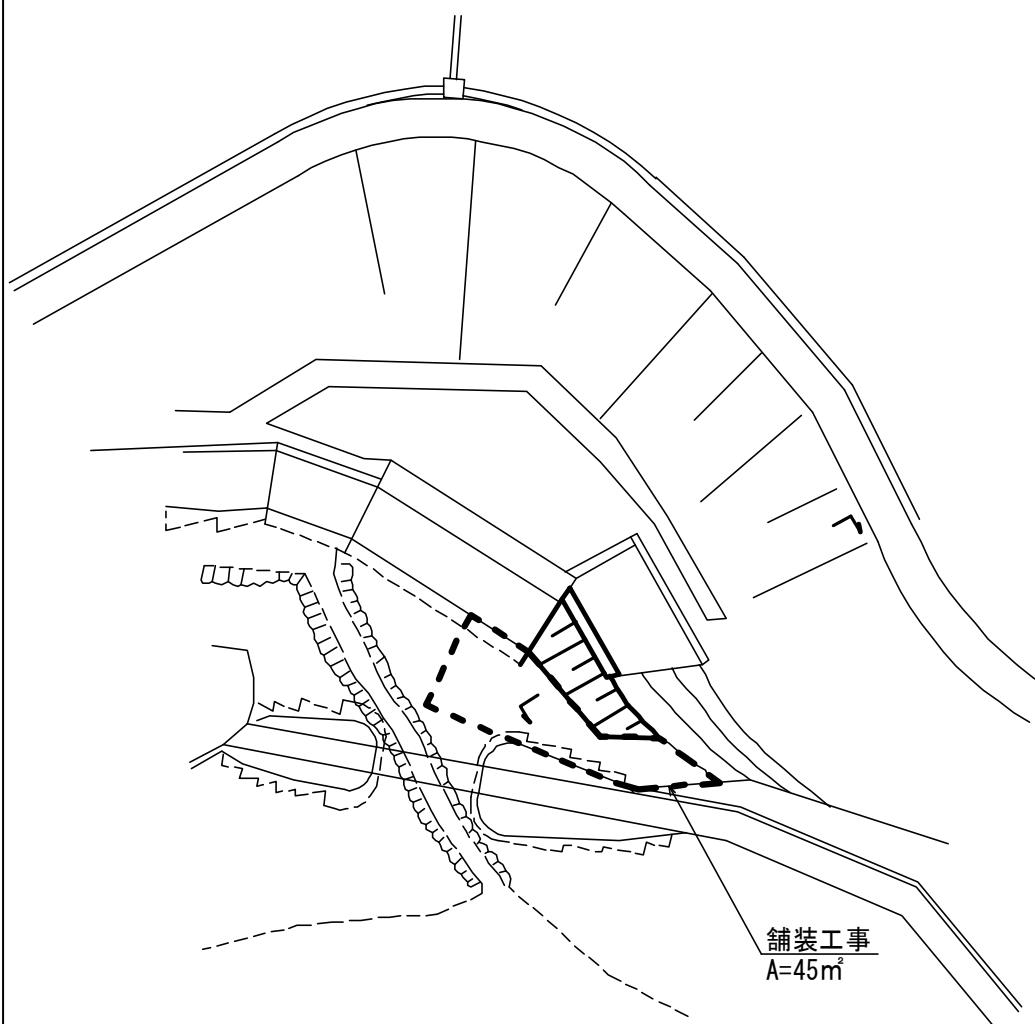
- ・¥104,000,000円





2案平面図：岩盤層観賞

S=1/300



糸魚川ジオパーク戦略プラン

2案断面図：岩盤層観賞

S=1:300

①施工概要

- ・岩盤線から既設橋梁底版位置まで掘削する。

②施工上の問題点

- ・既設橋梁の安定を照査しなければならない。
- ・土質状態により別途アンカー挿入等が発生する。

③構造の安全性

- ・既設擁壁基礎が確実に岩盤層に入っているれば問題無し。

④景観上の問題点

- ・岩盤層の観賞となる。破碎帯は観賞出来ない。
- ・観賞する高さが小さい。
- ・アンカー挿入をするとその位置が見える。
- ・河川区域に入る可能性がある。
- ・見上げると既設擁壁まで見えるので威圧感を感じる。

⑤概算工事費（直接工事費）

- ・¥1,000,000円





(5) ホスピタリティの向上

1) 日本ナンバーワンのおもてなしのまちづくり

・来訪者に、気持ちよく糸魚川の魅力に触れ、楽しんでいただけるおもてなしの実施

2) ジオパークガイド体制の充実

・ガイドのスキルアップと組織の強化・充実

3) ジオパークマスターの活用

・ジオパークマスターからの情報発信とジオパーク検定者との連携

4) 食の魅力向上

・糸魚川ブラック焼きそばのB級ご当地グルメの祭典「B－1グランプリ」支援による
情報発信と各種食材の魅力向上と情報発信

来訪者の満足度を向上させリピーターになっていただくには受入側のホスピタリティが重要であり、観光関連事業者のみでなく、市民全体での気運の醸成と意識の向上を図る。

1) 日本ナンバーワンのおもてなしのまちづくり

糸魚川市を訪れた方が、気持ちよく糸魚川市の魅力に触れ楽しんでいただいたら、市民との出会いの中で、良い印象をお持ちいただくことが、糸魚川市の良さをPRしていただいたら、リピーターになっていただくことにつながることから、日本ナンバーワンのさわやかなおもてなしのまちづくりに取り組む。

① 具体策の検討

(A) 実施方針・内容の関係者と調整し決定

景観・環境美化でのおもてなし、あいさつ・接遇などコミュニケーションでのおもてなし、イベント・食など体験でのおもてなし等の事業を調整する。実施事業などについては、市民からの提案も募集する。

地区・企業・学校など参加団体の募集や市民への活動を普及する。

(B) ジオパークおもてなし講座等の開催

ジオパークの基本的な内容とおもてなしに関する講座等を各地域で開催する。

(C) おもてなしコンテスト、大会などの啓発活動の実施

取り組みへの关心と向上心を高めるために、あいさつ運動や環境美化、接客マナー、飲食などのコンテストや大会などを実施する。

② 実施主体

糸魚川市、糸魚川ジオパーク協議会、糸魚川商工会議所、糸魚川市観光協会、小中高校等

糸魚川ジオパーク戦略プラン

③費用

具体的な施策	実施内容	概算事業費	備考
1. 日本ナンバーワンのおもてなしのまちづくり	①市民周知	100万円	ポスター・チラシ
	②講座	40万円	10万円×4年
	③啓発	200万円	50万円×4年
合計		340万円	

④想定効果

おもてなしの実践により糸魚川市のイメージアップとリピーターの増加が期待される。

⑤工程

工程は下表のとおりである。

具体的な施策	実施内容	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
1. 日本ナンバーワンのおもてなしのまちづくり	①企画と周知		■			
	②実施・講座			■		
	③コンテスト				■	



2) ジオパークガイド体制の充実

糸魚川ジオパークでは、ジオパーク検定合格者の中から糸魚川ジオパーク協議会が「糸魚川ジオパーク観光ガイド（以下「ジオパークガイド」）」として認定している。ジオパークガイドは、来訪者に糸魚川ジオパークの魅力や歴史、伝統文化などを発信しているが、より質の高い案内を実施するためにもガイドのスキルアップや組織の強化、ガイドマニュアルの作成等が必要となる。

① 具体策の検討

(A) ジオパークガイドマニュアルの作成

ジオパークガイドは、ジオパーク検定を合格していることから、糸魚川ジオパークに関する知識や熱意を有している。しかし、来訪者に対して糸魚川ジオパークの魅力を発信し、交流を促進していくためには、知識を伝達するだけでなく、ガイドとしての心得や発信ポイントを分かりやすく整理する必要がある。そして、整理した内容をジオパークガイド用のマニュアルとして配付し、ガイドの質の向上を目指す。

作成するジオパークガイドマニュアルは、関係団体で既に作成している「外国人観光客接遇マニュアル 総合版」や「糸魚川ジオパークのことが分かる本」などを参考にしながら、①糸魚川ジオパークの概要や特徴、見どころ（ジオポイント、周辺観光資源）などをとりまとめた「総則編」、②各モデルコースについてターゲット別（高齢者、児童・学生、婦人等）にガイドすべきポイントをとりまとめた「解説編」、③ジオパークガイドとしての心得や役割、観光客への接し方、コミュニケーション術などをとりまとめた「対応編」、④外国人訪問者に対するポイントをとりまとめた「海外からの外国人客対応編」とする。

(B) ジオパークガイドのスキルアップ

訪問者の満足度を向上させるためには、単にジオパークについての知識を披露するだけでなく、訪問者の分野・ニーズに応じて内容や接し方を変化させながら案内する必要がある。そのためには、作成する「ジオパークガイドマニュアル」を活用するとともに、不足している能力・知識に合わせた講師を招聘し、スキルアップ講座を開催する。さらに、外国人訪問者に対する案内方法等についても身につけていくことが必要である。

(C) 糸魚川ジオパーク観光ガイドの会の強化・充実

ジオパークガイドを継続して運営していくためには、独立した組織を設立し、運営していくことが望まれる。そのために、「糸魚川ジオパーク観光ガイドの会」を運営するための仕組みを検討していく必要がある。

2011（平成 23）年6月に既存の組織である「糸魚川市観光協会ボランティアガイドの会」と「糸魚川ジオパークガイドの会」が統合し、新たに「糸魚川ジオパーク観光ガイドの会」が設立した。糸魚川ジオパーク観光ガイドの会の組織を強化・充実を図り、さらに、新幹線開業時におけるジオパークガイドの充実やジオパークガイドの若返り対策の実施を進めていく必要もある。

糸魚川ジオパーク戦略プラン

②実施主体

ジオパークガイドマニュアルの作成は、糸魚川市、糸魚川ジオパーク協議会、糸魚川ジオパーク観光ガイドの会、糸魚川市観光協会。

ジオパークガイドのスキルアップ及び「糸魚川ジオパーク観光ガイドの会」の組織の強化・充実は、糸魚川ジオパーク協議会、糸魚川ジオパーク観光ガイドの会、糸魚川市観光協会、糸魚川国際人材サポート協会。

③費用

具体的な施策	実施内容	概算事業費	備考
1. ジオパークガイドマニュアルの作成	①ジオパークガイドマニュアルの作成	－	ガイドが作成
	②ジオパークガイドマニュアルの印刷・配付	50万円	500部
2. ジオパークガイドのスキルアップ	①講座内容の検討	別途	
	②スキルアップ講座の開催	別途	
3. 糸魚川ジオパーク観光ガイドの会の強化・充実	①運営の枠組みの検討	－	
	②糸魚川ジオパーク観光ガイドの会の設立、運営	別途	
合計		50万円	

④想定効果

スキルアップ講座を受講し、ジオパークガイドマニュアルを活用した案内を実施することで、観光客の満足度を高める効果を想定する。

⑤工程

工程は下表のとおりである。

具体的な施策	実施内容	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
1. ジオパークガイドマニュアルの作成	①ジオパークガイドマニュアルの作成					
	②ジオパークガイドマニュアルの印刷・配付					
2. ジオパークガイドのスキルアップ	①講座内容の検討					
	②スキルアップ講座の開催					
3. 糸魚川ジオパーク観光ガイドの会の強化・充実	①運営の枠組みの検討					
	②糸魚川ジオパーク観光ガイドの会の設立					



3) ジオパークマスターの活用

糸魚川ジオパークの来訪者に、ジオパークの魅力と生きた情報を伝えるために、ジオパークマスターの活用を図る。

①具体策の検討

(A) ジオパークマスターのいる店の特典制度

ジオパークマスターのいる店に対して、特典制度の設置を促し、来訪者の利用促進を図る。特典として、割引クーポンやポイントカードの発行など、利用者に分かりやすく楽しめるものとする。

(B) ジオパーク検定合格者との連携

ジオパーク検定合格者とジオパークマスターとの連携を深め、ジオパークの情報交換を行い、コミュニケーションを図ることは、ホスピタリティ（おもてなし）を向上するためには重要である。その方法として、ジオパーク検定合格者がジオパークマスターのいる店を利用する場合、割引等の特典制度が受けられるようにする。

②実施主体

特典制度の実施はジオパークマスターであるが、糸魚川市、糸魚川ジオパーク協議会、糸魚川商工会議所が支援。

③費用

情報発信等は、糸魚川ジオパーク協議会、糸魚川商工会議所で行う。

④想定効果

特典制度の実施により、ジオパークマスターのいる店の活性化と、おもてなしの向上が図れる。

⑤工程

工程は下表のとおりである。

具体的な施策	実施内容	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
ジオパークマスターの活用	①関係者協議	■				
	②実施	■	■	■	■	■

糸魚川ジオパーク戦略プラン

4) 食の魅力向上

旅行において食は、昼食・宿泊に結びつく重要な要素であり、大きく経済効果に結びつき、リピーターにもつながる。ブラック焼きそばやあんこう、ベニズワイガニ、南蛮エビなど、糸魚川ジオパークの来訪者にジオパークの魅力と併せて、魅力的な食事によるおもてなしを提供することにより、糸魚川市のイメージアップとリピーター確保につなげる。

①具体策の検討

ジオパークのみならずジオパークに関連して交流人口を拡大するために、糸魚川ジオパークの来訪者に糸魚川市の魅力的な食事を提供する。魅力を向上させる食事として、「イカ墨を用いた糸魚川ブラック焼きそば」と「あんこう・ベニズワイガニ・南蛮エビなどの地元食材」を対象とする。

(A) イカ墨を用いた糸魚川ブラック焼そばの魅力向上

糸魚川ブラック焼きそばの知名度を上げるために、各地域でのイベント等への参加や、2014（平成 26）年度末の新幹線開業までに「B-1 グランプリ」参加をめざす。イベント時は多くのスタッフが必要となることから、関係者のみでなく広く市民の関心も高め応援体制の充実も進める。さらに、魅力を向上させるため、提供店は常においしさの向上に努めるとともに、マスコットキャラクターやブラックをキーワードにして、糸魚川ジオパークに関連した新たな商品開発を実施する。

(B) あんこうなどの地元食材の魅力向上

あんこうやベニズワイガニ、南蛮えび（甘エビ）、ゲンギョなどは、糸魚川の代表的な海産物であり、糸魚川市観光協会、糸魚川青年会議所、道の駅などでイベントや普及活動が実施されている。

あんこうは、冬の誘客に結び付けようと「日本海荒波あんこう」としてイベント等を実施しているが、さらに店独自の特徴をもったあんこう料理の提供と温泉、地酒や、糸魚川ジオパークの見学を組み入れたツアーを開発し、誘客の増加を図る。さらに地元食材を連携させた通年での情報発信やイベントの実施による糸魚川の食材の魅力向上と知名度を高める。

②実施主体

糸魚川市観光協会（糸魚川うまいもん会）、糸魚川市、新潟県糸魚川地域振興局、市内飲食店等



③費用

関係者協議の費用、商品開発費は別途とする。また、ブラック焼きそば関連については、すでに糸魚川うまいもん会により様々な取り組みが実施されていることから、既存の取り組みとの連携を図る。

具体的な施策	実施内容	概算事業費	備考
1. イカ墨を用いたブラック焼きそばの魅力向上	①知名度アップのためのイベント参加	470万円	平成23年度150万円、平成24年度、平成25年度各160万、平成26年度、平成27年度別途
	②糸魚川ジオパークと関連した商品開発	別途	
2. あんこうなどの地元食材の魅力向上	①ツアーオープン・情報発信の実施	別途	
合計		470万円	

④想定効果

ブラック焼きそばやあんこうなどの魅力の向上により、商店街の活性化、ジオパーク来訪者の満足度向上が図られる。

⑤工程

工程は下表のとおりである。

具体的な施策	実施内容	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
1. イカ墨を用いたブラック焼きそばの魅力向上	①知名度アップのためのイベント参加					
	②糸魚川ジオパークと関連した商品開発					
2. あんこうなどの地元食材の魅力向上	①ツアーオープン・情報発信の実施					